

(1) 2017年2月15日

第117号

発行所/九州学院 〒862-8676 熊本市中央区大江5丁目2-1 TEL(096)364-6134 FAX(096)363-2576
発行人/阿部英樹 編集人/森貞紀 印刷所/徳河田印刷 熊本市南区近見8丁目5-105 TEL(096)353-1049



あなたたちは真理を知り、
真理はあなたたちを自由にする。(ヨハネによる福音書 8章32節)
You shall know the truth
and the truth shall make you free. (JOHN 8:32)



主に望みをおく人は新たなる力を得る

—イザヤ書40章31節—

九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝



震災とその後の回復に向けた歩みで明け暮れた2016年が過ぎ、私たちは新しい2017年という年を迎えました。しかし、私たちは、災害からの復旧の道の途上にありますし、世界は未だに大きな混乱と課題を抱えたままです。2017年は、1517年にM.ルターが宗教改革の口火を切ってから500年目に当たりますが、この歴史の曲がり角で、人類はまだ新しい時代の方角を見出せないでいる状況が続いています。

こういう状況の中で如何せんと思っすときに、ふと上記のイザヤ書の言葉を思い起こしました。これは、紀元前586年にバビロニア帝国によってエルサレムが崩壊し、戦火に包まれ、人々がバビロニアに捕囚(今日で言う「難民」として連行され、異国のチグリス・ユーフラテス川のほとりでの生活を余儀なくされたときに、「第2イザヤ」と呼ばれる人が「神の言葉」として人々に語りかけた言葉の一部です。

人々の目の前にあったのは悲しみと不安、そして絶望だけでした。彼らは自分の境遇を嘆きました。しかし、「第2イザヤ」は、目を高く上げて遥かに広がる大空と大地を見よ、私たちはすべてを失ったように思えても、大いなる神の恵みと導きはある。その神の大きさを心に宿す者は「新たなる力を得る」と語りかけたのです。私たちは「神の大きさ」を心に宿すことができる、それは「新しい力」を与えてくれるから、その「神の大きさ」で生きていけ、という意味です。

2017年、私たちもその「神の大きさ」を宿しつつ生きていきたいと思っています。



九州学院では1月19日を学院の創立記念日(1910年同日設立認可、開校は1911年)として定め、「創立記念講演会」を開催しています。

学校創立記念講演会

自分らしく生きる

社会福祉法人リテラライトホーム
中山泰男施設長(63歳)

全国優勝祝賀会を開催

2月3日(金)、熊本ホテルキャッスルにて、九州学院中学・高校の全国優勝祝賀会が開催されました。この祝賀会は、前年11月の「熊本県私立学振興大会」で表彰を受けた生徒や指導者の偉業を称え、毎年この時期に学校主催で行っています。今回はさらに、全日本女子ボクシング選手権と全国高校駅伝(区間賞)、高円宮杯全日本英語弁論大会を加え、14大会での団体・個人の全国優勝を祝しました。



謝辞を述べる榎台高校剣道部前主将

祝日本一

陸上競技部男子第67回全国高等学校駅伝競走大会
大蔵洋人選手 7区で区間優勝!
ボクシング部第15回全日本女子ボクシング選手権
花田果歩選手 ジュニアの部フェザー級初制覇!

12月25日(日)に新たに二人の全国優勝者が誕生しました。京都市で行われた全国高校駅伝競走大会男子の部で、競走7区を走った大蔵洋人選手(3年)が14分35秒で見事区間優勝を獲得し、前回大会の準優勝に続く3位入賞に大きく貢献しました。



花田果歩選手(左)と大蔵洋人選手(右)

- **空手道部**
第5回東アジアジュニア&カテト選手権大会
ジュニア男子個人組手
61kg以下級
上野 翔輝(3年)
- **高校個人の部優勝**
全国高等学校総合体育大会剣道競技
男子 啓太(3年)
女子 啓太(3年)
- **ダンス**
BATTLE ATOMIX FREE
STYLE CREW BATTLE
ストリートダンス全国大会
WORLD DANCE COLLESEM
HIP DANCE 2016
藤本 一書(3年)
- **中学個人の部優勝**
英語弁論
高田富林第88回全日本中学校英語弁論大会
黄 允珠(3年)
- **ボクシング部**
第15回全日本女子ボクシング選手権ジュニアの部フェザー級
- **陸上競技部**
全国高等学校総合体育大会陸上競技男子10000m
齊藤 勇真(3年)
- **自転車競技部**
第39回全国高等学校選抜自転車競技大会トラック競走ボートレース
相葉健太郎(3年)
- **剣道大会**
第45回廻星旗争奪全国高等学校剣道大会(山形県選手権)
梶谷 彪雅(3年)
星子 啓太(3年)
鈴木 雄弥(3年)
近藤 祐世(3年)
齊藤 教正(3年)
岩切 勇磨(3年)
黒木裕一郎(3年)
長尾 和樹(3年)
重黒木祐介(1年)
- **駅伝大会**
第45回廻星旗争奪全国高等学校駅伝大会(山形県選手権)
梶谷 彪雅(3年)
星子 啓太(3年)
鈴木 雄弥(3年)
近藤 祐世(3年)
齊藤 教正(3年)
岩切 勇磨(3年)
黒木裕一郎(3年)
長尾 和樹(3年)
重黒木祐介(1年)

「主の慈しきは決して絶えない、主の憐れみは決して尽きない、それは朝ごとに新たに成る。」(哀歌3:22-23)

九州学院 校長 阿部 英樹
九州学院は、本年1月に創立106周年を迎えました。
学院の歴史の中には、試練の時がありました。しかし学院の教育に携わる者たちは、現実を甘受することが耐え難い時にあっても、心の奥に強い希望を持ち、共に苦難を乗り越えきました。熊本地震を経験した私たちも、先達たちがそうであったように、もう一度九州学院の建学の精神と原点に立ち返って、創造的な復興を図りたいと思っております。
私たちの人生には、試練はつきもので、時に希望を失うこともあり、困難に直面して希望を語ることは容易ですが、困難に直面して失意の中にいる時には難しいのです。そのような時に、学院で共に歌った讃美歌「いくしみ深き友なるイエスは」や、讃美歌「主われを愛す」がよみがえってくることはないでしょうか。
キリストは私たちを愛するからこそ、「苦しんでいるのはあなた一人ではない」と語りかけて下さる方です。そして、私たちの重荷を共に負い、共に歩んで下さるのです。そのことに気がかされる時に、たとえ不確実で厳しい状況にあっても、新たな力が与えられて、私たちは扉が開かれるのを待つことができます。そのこそ、希望があると思えます。
学院の震災後の状況につきましては、皆様にご心配をおかけしておりましたが、昨年末までに再建基本方針が定まり、現在、復興復旧に向けた取り組みが急ピッチで進められています。その中で、建設中の2号館(電車通り)の門から入って右側の建物)は、1学期途中から使用を予定していますし、4号館(中学校舎)の改築は年内竣工を目指しています。同窓生の皆様、保護者の皆様、そして九州学院にのなる皆様の御祈りと支援は、いつも大きな励みになっています。
「主の慈しきは決して絶えない、主の憐れみは決して尽きない、それは朝ごとに新たに成る。」(哀歌3:22-23)

「九学祭」大盛況！～芸術鑑賞・文泰高校交流も～

九州学院「九学祭」が11月4日(金)[校内発表]、5日(土)[一般公開]に行われました。校内発表では生徒による華麗なバレエやダンス、合唱などが披露され、完成度の高さに観客から大きな拍手が送られました。第2部では卒業生らによるプロの漫才コンビ3組が登場し、会場を大いに盛り上げてくれました。一般公開では開場直後から多くの来場者があり、各展示場やステージ、模擬店は大盛況でありました。これに先立ち10月31日(月)には熊本県立劇場にて芸術鑑賞が開催され、「ベートーヴェン・シンフォニエッタ」の皆さんによるすばらしい音色を堪能しました。また、九学祭にあわせて交流校である韓国の文泰学園高校から生徒代表と引率の先生方が九州学院を訪れ、交流の時を学校内外でもちました。翌週には九州学院の高校生と教師が文泰学園を訪問しました。



11月19日(土)九州学院体育館で宗教特別伝道週間(ミッショナリー)講演会が開かれ、水谷誠同志社理事、長同志社大学神学部長、教授に「かけがえのない時」九州学院での生活」という演題で講演いただきました。



かけがえのない時
水谷誠同志社理事長が講演

「育友会だより」

【講演会・臨時総会を開催】

10月28日(金)、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにおいて九州学院育友会講演会ならびに臨時総会を行いました。講演会では長岡立一郎九州学院理事長が「明日に架ける橋～ミッションスクールの意義～」との演題で講演され、引き続いて行われた2016年度臨時総会では吉永彰一2015年度育友会会長が挨拶と議事進行を行い、提出議案はすべて議場の承認を得て可決されました。

【九学祭収益を学院へ贈呈】

12月14日(水)、育友会定例委員会において議事終了後、11月5日(土)に行われた九学祭一般公開での育友会物販・バザーの収益金(目録)が、渡辺男子育友会会長より阿部英樹院長に手渡されました。

【センター試験受験生に応援グッズを贈呈】

1月14日(土)、15日(日)の両日に行われた2017年度の大学入試センター試験を受ける生徒のために、育友会から応援グッズ(合格鉛筆・マスク・インスタントカイロなど)の詰め合わせがプレゼントされました。



【卒業記念DVD『S69回の軌跡』を贈呈】

3月に学院を巣立つ高校3年生に、今年も育友会より卒業記念DVD『S69回の軌跡』を贈ります。3年間の思い出が写真や映像でたくさん収められた、楽しめる内容となっています。(監修 KOTE PRO.)

12月17日(土)、本学院体育館で中高全体での学校クリスマス礼拝・祝会が催されました。宗教部(敬愛会・白羊会)員や宗教委員、有志による聖歌隊など、さまざまな奉仕を生徒が行いました。第一部で小副川チャペンはクリスマス・マスの意味と希望について語りました。第二部では恒例のみどり幼稚園児による「聖誕劇」と、聖歌隊による合唱と楽器演奏が行われました。終了後は学年やクラスごとに集会や祝会の時をもちました。各教室では準備した企画で歓声が続きました。中1年度はチャペル前にも電飾を設置しました。12月17日(土)、本学院体育館で中高全体での学校クリスマス礼拝・祝会が催されました。

12月14日(水)、熊本県立劇場コンサートホールで開かれた「第41回全国高等学校総合文化祭熊本県代表選考会」において、中高同校で出場した九州学院合唱部が金賞を受賞しました。

12月4日(日)、美里町文化交流センターひびきで開かれた「第42回九州アンサンブルコンテスト」において、九州学院高吹奏楽部メンバーがサクソフォン五重奏とクラリネット五重奏で

「第41回全国総合文化祭熊本県代表選考会」合唱部が金賞

「九州アンサンブルコンテスト」吹奏楽部「二編」が銀賞

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

第31回全国高等学校文芸コンクール小説部門において、村井音音さん(3年)が「枝垂れ柳に吹いた風」と題した小説で優秀賞と読売新聞社賞を受賞しました。同コンクールでは必ずしも最優秀賞や優秀賞が選出されるわけではなく、すばらしい評価を得たといえるでしょう。また、読売新聞社賞は7部門(小説文芸評論、随筆、詩、短歌、俳句、文芸部誌)中、特に優秀な作品3点以内にしか授与されない特別な賞であり、昨年は、村井さん秀賞(受賞作「ガラタタの声」)を受賞しており、2年連続の受賞という快挙を成し遂げました。



「全国高校文芸コンクール」小説部門「優秀賞(2年連続)・読売新聞社賞」村井音音さん

文化面でも充実

第52回熊本県高校書道展(最優秀賞) 松岡 結(2年)

第22回熊本県高等学校揮毫大会(9月17日)「創作B(全紙)」(3位) 中村 小春(3年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

第20回熊本県高等学校文化連盟吹奏楽部新入コンクール(12月20日) 熊本県立劇場(銀賞)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

「第13回公德文芸賞」(入選) 陸(2年)

【待望のホール礼拝再開! 讃美の歌声高らかに】

11月8日(火)、熊本地震による被災で天井板や機材が席上に崩落したため使用できなかった3号館3階ホールで、修復後初めてのホール朝礼(礼拝)が約7ヶ月ぶりに行われ、待望の再開となりました。この日集まった高校2年生と教職員はオルガンの伴奏に合わせて讃美歌を高らかに歌いました。音響の良いホールで350人を超える人々による讃美の歌声は、教室での礼拝とはまた違う雰囲気を感じていました。小副川幸孝チャペレンは詩篇23篇の解説を交えながら「私たちも日々の苦労や恐れがあるが、どのようなことがあっても今日という一日を喜び精いっぱい生きていこう。聖書に主なる神さまが私たちともにおられるとあるから。」と語りました。



【新4号館(中学校舎) 本年末竣工予定】

4月の熊本地震で大きな被害が生じた4号館(中学校舎)につきまして、改築(新たな中学校舎を建設)することが決まりました。新校舎は現校舎と同様同じ場所に建てられます。中庭(テラス)をコの字型に囲むかたちで配置され、北側には1階に職員室や保健室等、2~4階には教室が入ります。各教室に南側から太陽光が適切に入るよう南北で建物の高さを変えています。南側は2階建てで主に特別教室や多目的教室が入り、これまで校舎中央にあったアリーナ(小体育館)は、特別教室棟の南側に建てられます。発行日現在、旧校舎の解体工事が行われており、新校舎は3月下旬着工、12月下旬竣工(1月からの使用開始)を見込んでいます。



クリスマス献金についての報告

クリスマスの献金は512,770円でした。ご協力誠に有難うございました。贈り先は下記の通りです。ルーテル連帯献金、Child Fund、国境なき医師団、日本赤十字社、広安愛児園、釜崎喜望の家、ライトハウス、慈愛園、ルーテル社団(被災生徒・学生支援)



高3特技・準特技(クリスマス修旅行)

1月18・20日、高校3年生の特技・準特技クラスが関西への研修旅行を行いました。他のクラスは2年生で実施していますが、全国大会等のために参加が困難であったため、この時期に行いました。卒業生の貴重な思い出を3日間たくさん作ることができました。

ツリー点灯式

11月25日(金)、正門付近でクリスマスツリーや植栽の電飾の点灯式があり、毎夕・夜に進行く人々に主の生涯を告げ知らせました。今年度はチャペル前にも電飾を設置しました。12月17日(土)、本学院体育館で中高全体での学校クリスマス礼拝・祝会が催されました。

主の生涯を祝いクリスマスイベント多彩に

スごとに集会や祝会の時をもちました。各教室では準備した企画で歓声が続きました。中1年度はチャペル前にも電飾を設置しました。12月17日(土)、本学院体育館で中高全体での学校クリスマス礼拝・祝会が催されました。

高3進路中間報告

約83%が進路決定

進路指導部長 谷口象二郎

1月末現在、今年度の推薦入試、AO入試はほぼ終了しました。1月14、15日にはセンター試験が行われ、これから私立大、国公立大の一般入試が行われます。受験生の皆さんの健闘をお祈りします。さて、卒業予定3年生346名のうち、1月23日現在での合格状況は、大学2名、4年制大学229名、短大7名、専門学校38名、就職内定11名(企業3、公務員8(自衛官5))で延べ287名、約83%の生徒の進路先が決まっています。なお、主な内訳は次のとおりです。国公立大5名(筑波2、熊本県立、北九州市立、名桜)、大学2名(防衛、中国四国酪農)、私立大学224名(熊本学園24、福岡21、同志社13、日本9、関東学院8、東洋7、九州ルーテル学院6、立命館アジア太平洋6、熊本保健科学5、帝京5、西南学院5、関西学院5、九州産業5、日本体育4、東海4、法政4、青山学院3、國學院3、専修3、東京農業3、明治3、明治学院3、久留米3、福岡女子学院3、城西国際3、近畿2、九州看護福祉2、九州共立2、京都産業2、杏林2、駒澤2、桜美林2、崇城2、中央2、中京2、日本経済2、別府2、立正2、亜細亜2、ルーテル学院、横浜商科、環太平洋、関西、桐蔭横浜、九州国際、九州保健福祉、広島経済、高岡法科、国際医療福祉、国際基督教、国士館、山梨学院、尚綱、上武、神奈川、聖マリア学院、倉敷芸術科学、大阪学院、大阪経済、大阪国際、大阪樟蔭女子、中村学園、長崎外国語、追手門学院、東京国際、東京女子、東洋英和女学院、徳山、日本女子体育、日本文理、福岡看護、福岡工業、平成国際、明治国際医療、立教、立命館、流通経済)、短大7名(青山学院女子、東京女子体育、大阪女学院、関西外国語、中村学園、福岡女子、熊本県立技術)。



クリスマス(大江教会にて)

た地域に比べ、小さな被害にとどまりました。地震以降、園児たちの心の傷は徐々に取り除かれ、今では元気に園庭でドッジボール遊びに夢中です。昨年暮れの園のクリスマス会は、九州学院東門前にある大江教会礼拝堂をお借りして行いました。年長、年中の園児たち(54名)と保護者(約80名)が集い、活気の溢れるクリスマス会となりました。園児たちは大きな声で讃美歌を歌い、年長(ゆり組)の園児たちも聖誕劇を一生懸命練習を重ね、本番でも上手に劇を演じきり、達成感を味わっていました。また、12月19日には例年行っています大根掘りを年少から年長

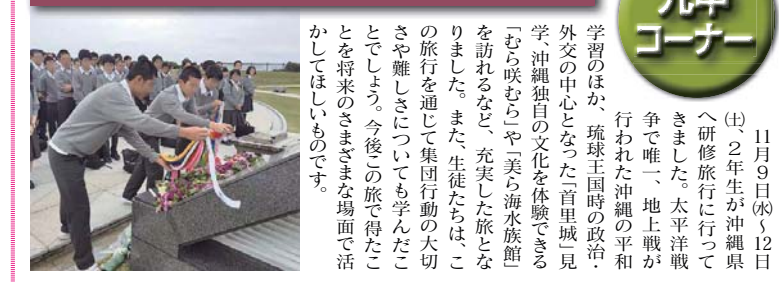
九州学院みどり幼稚園
認定こども園九州学院
みどり幼稚園園長 長岡立一郎
九州学院理事長 長岡立一郎

毎日成長する子どもたち

に至る園児たち、総勢80名が熊本北部にあります。また出かけた、泥まみれになって大きな大根を掘り当て、我慢そうに報告してくれました。昨年の大根は地震の影響も少なく、良質でした。園児たちの成長も一日一日を見張るものがあり、昨日まで「知らない言葉」や運動で「できなかったこと」を身につけ、周りの者は驚くほどの連続です。これも神さまのお支えと導きまわることですから、感謝するのみであります。新年が明け、早々から小春日和の日が続いています。熊本が、今年こそ穏やかで平和な一年となりますように、と願っています。

<p>柔道部</p> <p>第60回県下中学校新人柔道練習大会 (11月12日)</p> <p>山鹿市総合体育館</p> <p>男子団体 2位</p> <p>第60回県下中学校新人団体重量別選手権大会 (11月13日)</p> <p>山鹿市総合体育館</p> <p>男子個人55kg級</p> <p>3位 赤里 康輔(1年)</p> <p>男子個人90kg級</p> <p>2位 濱崎 駿(2年)</p> <p>男子個人90kg超級</p> <p>3位 益田 愛桜(1年)</p> <p>女子70kg級</p> <p>1位 坂田 早水(2年)</p> <p>2位 託田美沙希(2年)</p> <p>初段</p>	<p>剣道部</p> <p>第12回九州地区中学校柔道優勝大会 (12月11日)</p> <p>食鶴県諫早市小野体育館</p> <p>男子団体 2位</p> <p>女子団体 5位</p> <p>第18回外城剣道大会 (10月15日)</p> <p>菊池市総合体育館</p> <p>団体 九州学院中学校</p> <p>1位 Bチーム</p> <p>2位 Aチーム</p> <p>10月30日</p> <p>県新人戦</p> <p>菊池市総合体育館</p> <p>団体 1位</p> <p>段別選手権 (11月23日)</p> <p>菊池市総合体育館</p> <p>初段</p>	<p>水泳部</p> <p>第71回国民体育大会水泳競技大会 (9月9日~11日)</p> <p>盛岡市立総合プール</p> <p>少年女子B100m平泳ぎ</p> <p>5位 緒方 温菜(3年)</p> <p>女子の部</p> <p>福岡西市民プール</p> <p>15歳以上</p> <p>100m自由形</p> <p>5位 田代健太郎(3年)</p> <p>50mバタフライ</p> <p>1位 田代健太郎(3年)</p> <p>100m自由形</p> <p>6位 田代健太郎(3年)</p> <p>11歳~12歳</p> <p>50mバタフライ</p> <p>4位 関 青空(1年)</p> <p>50mバタフライ</p>	<p>野球部</p> <p>平成28年度秋季東部地区中学生野球大会 (10月9日)</p> <p>準優勝</p> <p>野球場</p> <p>第24回熊本県中学生新人大会 (11月20日)</p> <p>熊本県立総合スポーツセンター弓道場</p> <p>男子個人1年生の部</p> <p>1位 北里 悠(1年)</p> <p>技術優秀賞</p>	<p>その他の入賞</p> <p>第49回RKK・熊本県中学校器楽合奏コンクール (10月8日)</p> <p>熊本県立劇場</p> <p>銅賞</p> <p>第1回宮崎財団ロボットコンテスト (12月25日)</p> <p>八代(1~2ホール)</p> <p>技術部門</p> <p>1位 塚田 奏美(1年)</p>
--	--	--	---	--

2年生が研修旅行で沖縄へ



11月9日(水)~12日(土)2年生が沖縄県へ研修旅行に行きました。太平洋戦争で唯一、地上戦が行われた沖縄の平和学習のほか、琉球王国時の政治・外交の中心となった首里城・見学、沖縄独自の文化を体験できる「むらびら」や「美ら海水族館」を訪れるなど、充実した旅となりました。また、生徒たちは、この旅行を通じて集団行動の大切さや難しさについても学んだこととして、今後の旅で得たことを将来のさまざまな場面で活かしてほしいものです。

英語弁論大会で23年ぶり9度目の栄冠に



優勝カップを受け取る黄さん(右) 写真提供:読売新聞社

11月25日(金)、有楽町まゆりホールで「高田宮杯第68回全日本中学校英語弁論大会」決勝大会が開かれ、本校から県予選で優勝した黄珠珠さん(3年)が出場、熱弁をふるい、優勝しました。

黄さんは、「No Border」と題して、日本女子ハンドボールチームのヘッドコーチを務めたお父さんについてスピーチし、来場者の心をつかみました。大会を終えて、「自分でもびっくりしていますが、本当によろしいです。予選よりも緊張せず話せたと思います」と話しました。本校では県予選を含め毎年出場しているのですが、23年ぶり9回目の全国優勝となりました。

12月17日(土)は学院クリスマスでした。1限目からの中高合同クリスマス礼拝の後、中学校は学年別に祝会を実施しました。1年生はホールで第2回コーラスフェスティバルを開催。各クラス練習の成果を発揮し、元氣よく歌うことができました。2年生は現在教師になるための勉強をされている神学生の多田哲さんの講話を聞きました。多田さんは「なぜ自分が教師になろうと思ったのか」と題した講話をされました。3年生は草葉町教会の難波先生(牧師)に、来校いただき、チャペルで「かしら」種や絵本「おきなおおきなお」を例えにした講話などを聞きました。

3号館ホールで開催した1年生コーラスフェスティバル



9中コーナー
研修旅行に行きました。太平洋戦争で唯一、地上戦が行われた沖縄の平和学習のほか、琉球王国時の政治・外交の中心となつた首里城・見学、沖縄独自の文化を体験できる「むらびら」や「美ら海水族館」を訪れるなど、充実した旅となりました。また、生徒たちは、この旅行を通じて集団行動の大切さや難しさについても学んだこととして、今後の旅で得たことを将来のさまざまな場面で活かしてほしいものです。

剣道部が若鷲旗で全国優勝

12月25日(日)から28日(水)まで、兵庫県立体育館で第34回若鷲旗剣道大会が行われ、本校剣道部が出場しました。決勝戦では千葉県の幕張本郷中学校と熱戦を繰り広げ見事優勝、同大会で2年ぶりの全国制覇を成し遂げました。

12月17日(土)は学院クリスマスでした。1限目からの中高合同クリスマス礼拝の後、中学校は学年別に祝会を実施しました。1年生はホールで第2回コーラスフェスティバルを開催。各クラス練習の成果を発揮し、元氣よく歌うことができました。2年生は現在教師になるための勉強をされている神学生の多田哲さんの講話を聞きました。多田さんは「なぜ自分が教師になろうと思ったのか」と題した講話をされました。3年生は草葉町教会の難波先生(牧師)に、来校いただき、チャペルで「かしら」種や絵本「おきなおおきなお」を例えにした講話などを聞きました。

12月17日(土)は学院クリスマスでした。1限目からの中高合同クリスマス礼拝の後、中学校は学年別に祝会を実施しました。1年生はホールで第2回コーラスフェスティバルを開催。各クラス練習の成果を発揮し、元氣よく歌うことができました。2年生は現在教師になるための勉強をされている神学生の多田哲さんの講話を聞きました。多田さんは「なぜ自分が教師になろうと思ったのか」と題した講話をされました。3年生は草葉町教会の難波先生(牧師)に、来校いただき、チャペルで「かしら」種や絵本「おきなおおきなお」を例えにした講話などを聞きました。

12月17日(土)は学院クリスマスでした。1限目からの中高合同クリスマス礼拝の後、中学校は学年別に祝会を実施しました。1年生はホールで第2回コーラスフェスティバルを開催。各クラス練習の成果を発揮し、元氣よく歌うことができました。2年生は現在教師になるための勉強をされている神学生の多田哲さんの講話を聞きました。多田さんは「なぜ自分が教師になろうと思ったのか」と題した講話をされました。3年生は草葉町教会の難波先生(牧師)に、来校いただき、チャペルで「かしら」種や絵本「おきなおおきなお」を例えにした講話などを聞きました。

12月17日(土)は学院クリスマスでした。1限目からの中高合同クリスマス礼拝の後、中学校は学年別に祝会を実施しました。1年生はホールで第2回コーラスフェスティバルを開催。各クラス練習の成果を発揮し、元氣よく歌うことができました。2年生は現在教師になるための勉強をされている神学生の多田哲さんの講話を聞きました。多田さんは「なぜ自分が教師になろうと思ったのか」と題した講話をされました。3年生は草葉町教会の難波先生(牧師)に、来校いただき、チャペルで「かしら」種や絵本「おきなおおきなお」を例えにした講話などを聞きました。

3号館ホールで開催した1年生コーラスフェスティバル

